



亀岡市立詳徳小学校 学校だより
令和3年度 最終号

令和4年3月24日発行 0771-24-5669

令和3年度 教育活動の終了

春分を過ぎ、各地から桜の開花情報が届き、本校の桜の開花も今か今かと待たれます。

昨日は、令和3年度卒業証書授与式を挙行いたしました。新型コロナウイルスの感染予防のため、時間短縮規模縮小、感染対策を講じての式でしたが、38名の卒業生は、立派に巣立っていきました。

卒業式に先立ち、3月11日には、6年生を送る会を行いました。リモート形式ではありましたが、5年生を中心に、どの学年の発表も、これまでお世話になった六年生に感謝の気持ちを届けようと様々な工夫を凝らしたもので、6年生にもきっとその気持ちは届いたことと思います。また、各学年で準備した飾り付けや招待状、プレゼントやプログラムも心のこもったものばかりで、6年生にたくさんの感謝の気持ちを伝えたいという気持ちがあふれていました。私たち教職員からも、6年生にメッセージを送りました。



詳徳小のリーダーとして、委員会活動をはじめ、なかよし班活動等で、下級生を優しく導き、一生懸命にこの学校を支えてくれた6年生の誠実さと責任感の強さを、本校の伝統として、在校生に大切に守り受け継いでほしいと思います。38名の卒業生が、未来への夢と希望を胸に、これからの中学校生活で活躍されますことを心から願います。

さて、本日、令和3年度修了式並びに進級式を行いました。本当に子どもたちはこの1年間で大きくたくましく成長しました。式の中で、子どもたちの素晴らしさを3つ話しました。1つ目は、「あいさつ」です。安全協力員の方から、登下校だけでなく、出会った時にもあいさつしてくれると教えていただき、嬉しく思ったことを子どもたちに伝えました。また「ありがとう」の言葉が自然に出てくるところも、本校児童の良さです。2つ目は、学習における「自分なりの工夫」です。漢字練習や自主勉強で、自分にとって分かりやすい練習方法やまとめ方を工夫し、それが成績につながっている児童が増えてきました。主体的に学ぶ姿勢を嬉しく思います。3つ目は「優しさ」です。困っている友達を見つけると、学年を問わず複数の子どもたちが声をかけに行きます。みんなですればいいのか考えたり、励ましている姿を何度も見かけました。子どもたちには、これらの良さを大切にしてほしいと伝えました。コロナ禍の中、楽しいことばかりではなかったかもしれませんが、子どもたちが着実に成長していることを嬉しく思います。

もうすぐ桜が咲き始めます。桜はある一定の寒さを経験しなければ開花しません。冬の寒さを経験し、次第に温かくなっていく一日一日の気温を積み重ねて、開花に至るそうです。新学期、新たな学年で、子どもたちが、いろいろな経験を積み重ね、自分らしい花を咲かせてくれることを、教職員一同願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、各関係機関や各種団体の皆様には、本校の教育推進に広くそして厚く、ご理解とご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。我々教職員一同は、詳徳小学校のさらなる発展並びに子どもたちの大きな成長を目指し、力を合わせて新年度も教育活動の充実と発展に全力で努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

亀岡市立詳徳小学校長 平井 眞理子